

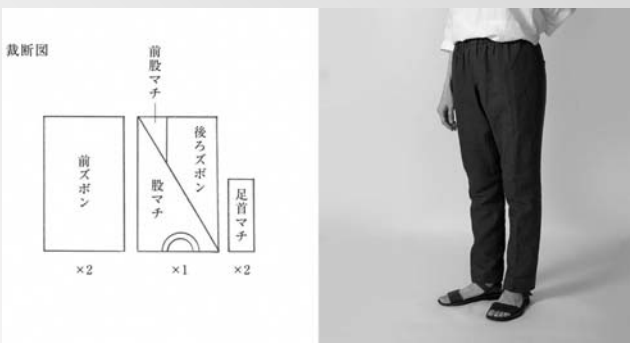
Vol.50

「たつけ」を
現代の暮らしに

「たつけはいとるのか。カッコええな〜」

私にたつけの作り方を教えてくれた80代のおばあさんは、現代風にアレンジしたたつけを愛用している私の後ろ姿を見て、微笑んでくれた。

石徹白で「たつけ」は、かつては農作業ズボンとして、そして今は石徹白民踊の舞台発表衣装として使われている。200



①たつけを穿いた姿とたつけの裁断図



②石徹白洋品店

7年に初めて石徹白を訪れて以来、行事ごとでたつけ姿で踊る石徹白のみなさんを眺めていた。しかし、その作り方を教えてもらった時は、目からウロコがポロポロ落ちた。洋裁学校に通っていた時、服を作るという事は、同時に大量のゴミ（ハギレ）が出ることを知りジレンマを感じていた。けれどたつけを作ってみると、生地をまっすぐ裁断し、パズルのように組み立てるので無駄な布が全く出ない。しかもはいてみると、これまで知っていたズボン

の中で一番動きやすく楽チンなのだ。私はこの「たつけ」に感動し、私はこれを広めるべきだ！と勝手な使命感を感じた。

それからが試行錯誤の連続だった。昔の形(前後の紐でウエストを結ぶ方法)では現代人には受け入れ難く、ウエストは通常のズボンのようにゴム仕様に。加えて、様々な体型の人に使用してもらえるようにサイズ展開を4パターン製作。いろんな人に使ってもらって感想をいただき改良に改良を重ねて、現代版「たつけ」がある。

先人の知恵に感謝をしながら、今を生きる私が私なりに考えて、現代の暮らしにフィットするものとして蘇らせる。それは私にとっても幸せで豊かな時間であり、その結果生まれた新生「たつけ」をたくさんの方に広めていきたいと意気込んでいる。

※「たつけ」を始めとする石徹白に伝わってきた衣服は製品に加え「作り方冊子」も販売中

☎ 石徹白洋品店
(平日10時〜17時)
86・38008

岐阜県学寮の入居者募集

(公財)岐阜県学寮では学生寮(東京都文京区)から東京圏の大学へ通う入居者を募集しています。

【資格】岐阜県出身で4月から同学寮から通学可能な4年制または6年制の大学昼間部へ入学予定の男子生徒(合格前も応募可)

【定員】30人程度

【選考】書類、面接

- 第1回 12月11日(土) 岐阜長良 石金
- 第2回 12月12日(日) 高山市民文化会館
- 第3回 2月27日(日) 岐阜長良 石金
- 第4回 3月6日(日) 東京・岐阜県学寮

【締切】応募書類一式を希望面接日1週間前までに郵送(必着・簡易書留)または直接持参ください。

【問い合わせ先・資料請求・提出先】

岐阜県学寮 ☎03-3947-1958
〒112-0006 東京都文京区小日向1-18-11

※詳細は、岐阜県学寮へお問い合わせください。

原爆と人間パネル展を開催しました

市では、市民のみなさんに被爆の実状をお伝えし原爆について考えていただく機会として、広島・長崎の原爆に関するパネル展を開催しています。

今年度は、市役所美並庁舎、高鷲庁舎で開催し、観覧者からは、「二度とこのようなことの起きない世界を望む」、「子ども達にもぜひ見て欲しい」などの感想をいただきました。感想は、市ホームページに掲載しています。

「非核平和宣言のまち郡上市」として、今一度、平和についてみなさんも一緒に考えてみませんか?



▲郡上市
ホームページ